



赤塚だより

知を磨き・徳を温め・体を鍛え

平成25年 3月 5日発行

水戸市立赤塚中学校
NO. 60

平成25年度に向けて(話し合い活動の充実)

学校教育目標

未来社会を主体的に生きることのできる豊かな知性と、心身ともにたくましい生徒の育成

すべての生徒が安心して学校生活を楽しみ、一人一人のよさが輝く学校

めざす教師像

- 尊敬・信頼される教師
- 常に自己を磨く教師
- 生徒と共に共働する教師
- 人間性豊かな教師

校訓

- 知を磨き
- 徳を温め
- 体を鍛え

めざす生徒像

- 夢や希望を持ち続ける生徒
- 学習と運動の両立ができる生徒
- 相手を尊重し、おもいやる生徒

豊かな心プロジェクト

「確かな学力」の向上を目指す学習指導の改善

- ・学び合い、磨き合う「質の高い」授業実践
- ・基礎基本の確実な定着
- ・個に応じた指導と評価の工夫
- ・授業改善を図る実践研究
- ・学習習慣の確立
- ・小中連携(学習マニュアル・交流授業)
- ・少人数指導、地域人材の活用

豊かな心プロジェクト

豊かな心の育成

- ・実態に応じた年間計画の作成
- ・道徳校内研修授業の実施
- ・キャリア教育の充実
- ・体験活動やボランティア活動の積極的取り組み
- ・話し合い活動の充実とマニュアル作成
- ・学年・学級経営の充実
- ・清掃活動の充実
- ・生徒会活動の充実

たくましい体プロジェクト

生徒の体力の向上と保健安全意識の高揚

- ・体カテストの結果活用と改善の重点化
- ・部活動の充実
- ・体力つくりの実践
- ※定期的トレーニングタイムの実施
- ・安全教育の実践
- ・自己管理能力の育成
- ・自己指導能力の育成



話し合いなどの学び合いを行うための基盤となるのは、多様な考えを自由に表明し合い、それを素直に受け入れられる、民主的な学級風土です。それによって、ただ発言するだけでなく、互いに聞き合う学習態度が育成され、「子ども同士の相互作用」という大きな力を産むこととなります。このような学級づくりのために、年度当初から、全教科・領域はもとより、学級での生活全般において、教師としては次のようなことを大切にする。

- ・発言や会話の時に生徒が自分の言葉で話せるように、言葉に詰まった時も聞く態度を崩さず、辛抱強く待つ。それでも言えない場合は、優しくリードを試みていく。
- ・授業中に発言した生徒に対しては、必ずコメントを返すことでその行為を認めていく。
- ・どのような発言に対しても、肯定的に受け入れる態度を示すことで、発言者に安心感を持たせる。さらに、発言者や発言内容を笑ったりする児童に対しては毅然とした態度で臨むことにより、どのような発言でも大切にすべきであることを生徒に示していく。
- ・言いたいことを十分に伝え切れない発言に対しては、補助質問によって内容をはっきりさせる。さらに、それをわかりやすくまとめて返してやることによって、それを聞いている他の生徒だけでなく、発言者自身にとっても言いたいこと明確にさせていく。



★話し合い活動の進め方★

1. はじめの言葉
「これから第○回学級会を始めます。」
2. クラスの歌
「クラスの歌を歌いましょう。」
議題の確認と提案理由の説明
3. 議題の確認と提案理由の説明
「今日の議題は○○○○です。提案理由を○○さんに説明してもらいます。お願いします。」
「ありがとうございます。」「質問はありませんか。」
4. めあてと話し合う内容の確認
「今日のめあては○○○○です。話し合う内容は、○○と○○です。」
5. 話し合い
「それでは話し合いを始めます。」

(司会で困ったとき)

意見をもっと出してもらいたいとき

「今、○○について話し合っています。」「近くの人と話し合ってください。」

意見がいろいろ出てまとまらないとき

「○○さんの意見についてどう思いますか。」

「この中でいいと思う意見、ふさわしくないと思う意見はどれか言ってください。」

「できるだけ多くの希望を取り入れた意見を出してください。」

話し合いをスムーズに進めたいとき

「今は○○について話し合っています。それについては後で出してください。」

「○○さん、もっとくわしく(わかりやすく)言ってください。」

「○○については計画委員が決めるということでもいいですか。」

6. 決まったことの発表
「今日決まったことを書記の○○さんに発表してもらいます。○○さんお願いします。」
7. ふり返りと先生の話
「先生お願いします。」
8. 終わりの言葉
「これで第○回学級会を終わりにします。」